

目次

1. 悪性胸膜中皮腫 シスプラチン+ペメトレキセド療法（745013）	1
2. 悪性胸膜中皮腫 進行再発 ニボルマブ療法（745001）	3

初版 2020年12月04日

第2版 2021年3月01日

作成 羽生総合病院 外来化学療法センター/薬剤科

1. 悪性胸膜中皮腫 シスプラチン+ペメトレキセド療法 (745013)

薬品名	略語	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日	備考
ペメトレキセド	PEM	500mg/m ²	点滴静注	10分	Day1	パンビタン末および ビタミン B ₁₂ 注の 投与を確認
シスプラチン	CDDP	75mg/m ²	点滴静注	90分	Day1	遮光して投与

■ 1コース期間：21日毎、総コース数：6コース

- ・ ペメトレキセド投与1週間前よりパンビタン末 1g 投与開始し、治療中は継続すること。また、ペメトレキセド投与1週間前にビタミン B₁₂を筋注し、9週間毎に継続すること。

■ 参考文献：J Clin Oncol. 2003 Jul 15;21(14):2636-44.

■ 催吐リスク : 高

■ 発熱性好中球減少リスク : 低

■ 血管への影響 : CDDP：炎症性抗がん剤、PEM：非壊死性抗がん剤

■ 主な有害事象

- ・ CDDP：悪心、嘔吐、食欲不振、倦怠感、腎機能障害、骨髄抑制、聴力障害、末梢神経障害、電解質異常 (特に低 Mg 血症が特徴的)
- ・ PEM：悪心、皮疹、疲労、骨髄抑制

■ 減量基準

	CDDP	PEM
1段階減量	60mg/m ²	375mg/m ²
2段階減量	40mg/m ²	250mg/m ²

■ 腎機能によるシスプラチンの減量基準

Ccr 45-60mL/min	75%に減量
Ccr 30-45mL/min	50%に減量
Ccr <30mL/min	中止

2. 悪性胸膜中皮腫 進行再発 ニボルマブ療法 (745001)

薬品名	略語	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日	備考
オプジーボ® (ニボルマブ)		240mg	点滴静注	30分	Day1	フィルター投与

■ 1コース期間：14日毎、総コース数：PDまで

■ 参考文献：J Thorac Oncol. 2017; 12 (11, Suppl_2) : S1883. J Thorac Oncol. 2018; 13 (10) : 1569-76.

■ 催吐リスク : 最小

■ 発熱性好中球減少リスク : 低

■ 血管への影響 : ニボルマブ : 不明

■ 主な有害事象

・ ニボルマブ：下痢、疲労、そう痒症、発疹、間質性肺疾患、横紋筋融解症、大腸炎、1型糖尿病、肝機能障害、肝炎、甲状腺機能障害、神経障害、腎機能障害、下垂体機能障害、静脈血栓塞栓症、インフュージョンリアクション

■ 減量基準

	ニボルマブ
1段階減量	減量規程なし